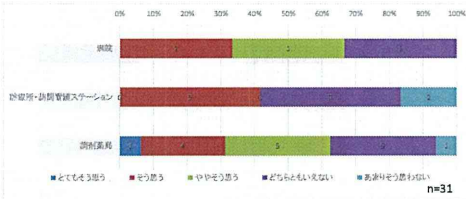
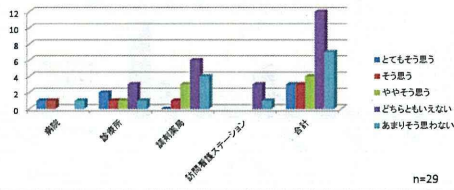
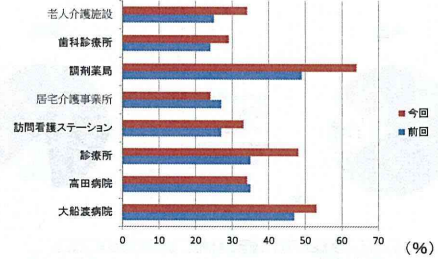


老人介護施設との連携はよいか



Ⅲ-1がん緩和地域連携に対して、連携はよくとれているとおもいますか



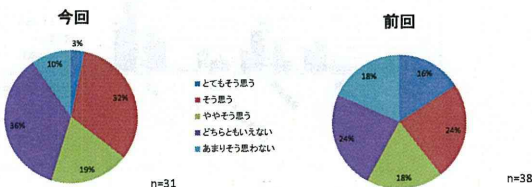
* : とても良くそう思う, そう思う, ややそう思うと回答した率を加算した値の比較

Ⅲ-1がん緩和地域連携に対して、連携はよくとれているとおもいますか

- 前回と今回の調査を比較し、大きく改善したのは、診療所との連携、調剤薬局との連携、老人介護施設との連携であった。これらの内訳をみると調剤薬局との連携改善が影響している。
- 病院の回答は、1施設で計算されるので改善率に反映しにくいという点はあるが、調剤薬局との連携がこの1年間で大きく進んだ結果となった。
- 大船渡病院、歯科診療所、訪問看護ステーションとの連携も5-6%改善している。
- 気仙が在宅ワーキンググループの活動も、病院、診療所、歯科診療所、調剤薬局、訪問看護ステーションのスタッフが参加し、顔の見える関係づくり、相談できる関係性の構築に役立ってきている。

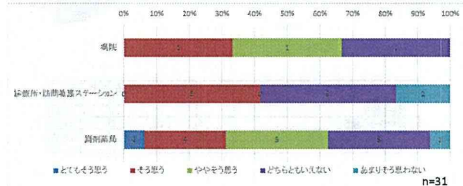
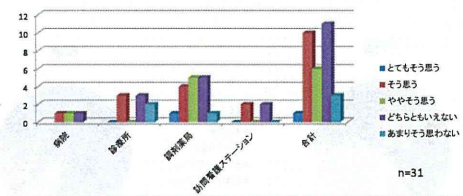
- Ⅲ-2がん患者の緩和ケアに関する連携についてどのようにお考えになりますか。

がん患者が利用できる地域の医療資源やサービスがわかる

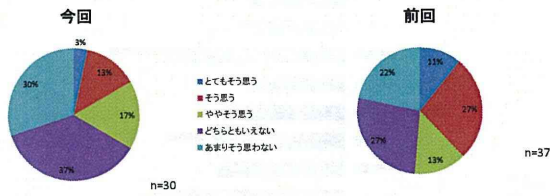


1.がん患者が利用できる地域の医療資源やサービス	診療所	調剤薬局	合計	%
1.とてもそう思う	0	1	1	3.2%
2.そう思う	1	5	6	19.4%
3.ややそう思う	1	0	1	3.2%
4.どちらともいえない	1	5	6	19.4%
5.あまりそう思わない	1	2	3	9.7%

がん患者が利用できる地域の医療資源やサービスがわかる

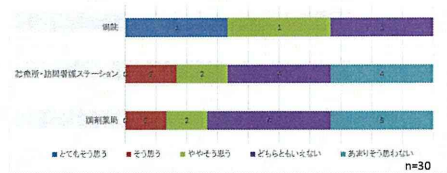
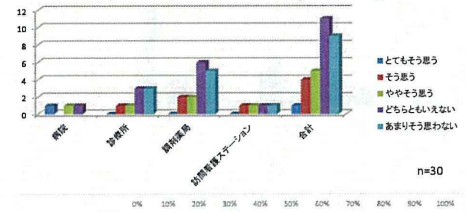


地域でがんをよくみている訪問看護ステーションがわかる

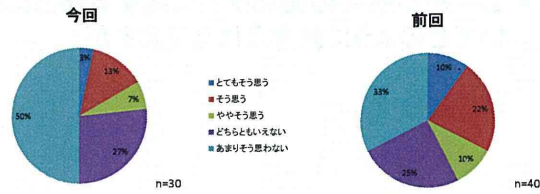


2. 地域でがん患者をよくみている訪問看護ステーション	診療所	訪問薬局	合計	%
1. とてもそう思う	1	0	1	3.3%
2. そう思う	1	2	3	13.3%
3. ややそう思う	1	2	3	16.7%
4. どちらともいえない	1	4	5	35.7%
5. あまりそう思わない	1	4	5	30.0%

地域でがんをよくみている訪問看護ステーションがわかる

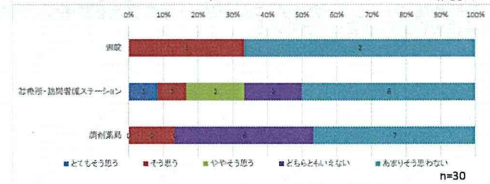
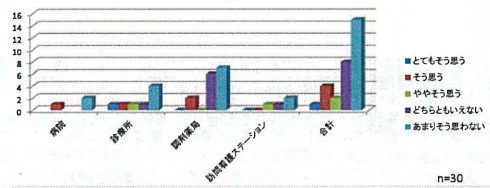


地域でがん患者をよくみているケアマネージャーがわかる



3. 地域でがん患者をよくみているケアマネージャー	診療所	訪問薬局	合計	%
1. とてもそう思う	1	0	1	3.3%
2. そう思う	1	2	3	13.3%
3. ややそう思う	2	0	2	8.3%
4. どちらともいえない	2	6	8	26.7%
5. あまりそう思わない	2	6	8	26.7%

地域でがん患者をよくみているケアマネージャーがわかる

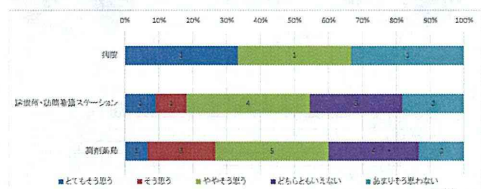
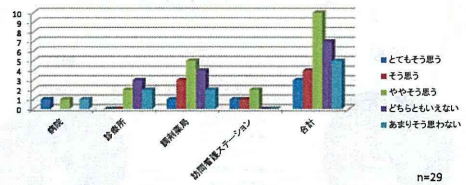


地域でがん患者を往診してくれる医師がわかる

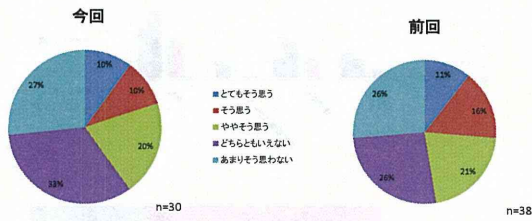


4. 地域でがん患者を往診してくれる医師が	診療所	訪問薬局	合計	%
1. とてもそう思う	1	1	2	10.3%
2. そう思う	1	3	4	13.8%
3. ややそう思う	1	4	5	34.5%
4. どちらともいえない	3	4	7	24.1%
5. あまりそう思わない	1	2	3	17.2%

地域でがん患者を往診してくれる医師がわかる

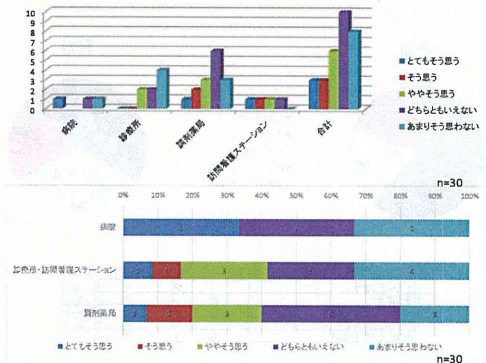


地域でがん患者に関わっている人たちの『顔の見える関係』があると思う



5.地域でがん患者に関わっている人たちの関係	病院	診療所	訪問薬局	合計	%
1) とてもそう思う	1	1	1	3	10.0%
2) そう思う		1	2	3	10.0%
3) ややそう思う		3	3	6	20.0%
4) どちらともいえない	1	3	6	10	33.3%
5) あまりそう思わない	1	4	3	8	26.7%

地域でがん患者に関わっている人たちの『顔の見える関係』があると思う

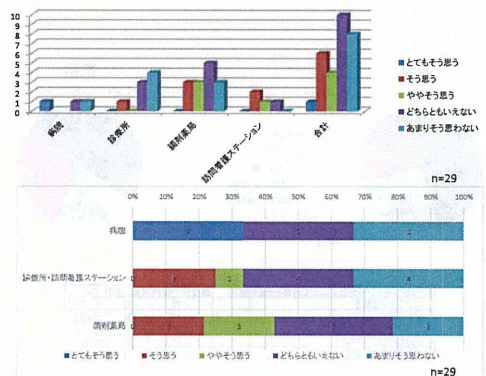


在宅に移行するがん患者については、退院時にカンファレンスや情報共有をしっかりと行っている

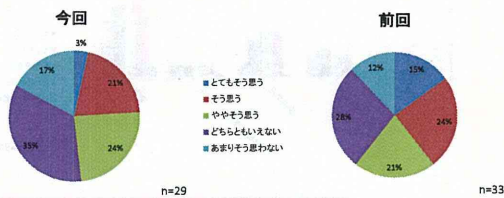


6.在宅に移行するがん患者については、退院時	病院	診療所	訪問薬局	合計	%
1) とてもそう思う	1	0	0	1	3.4%
2) そう思う		3	3	6	20.7%
3) ややそう思う		1	3	4	13.8%
4) どちらともいえない	1	4	5	10	34.5%
5) あまりそう思わない	1	4	3	8	27.6%

在宅に移行するがん患者については、退院時にカンファレンスや情報共有をしっかりと行っている

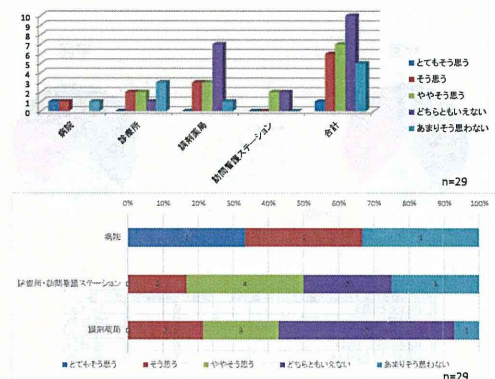


退院や入院のとき、相手がどんな情報が必要としているかを考えて申し送りをしたり、情報提供を行ったりしている



7.退院や入院の時に、相手がどんな情報が必要としているかを	病院	診療所	訪問薬局	合計	%
1) とてもそう思う	1	0	0	1	3.4%
2) そう思う		2	3	5	16.7%
3) ややそう思う		4	3	7	24.1%
4) どちらともいえない	1	3	7	11	34.5%
5) あまりそう思わない	1	3	1	5	17.2%

退院や入院のとき、相手がどんな情報が必要としているかを考えて申し送りをしたり、情報提供を行ったりしている

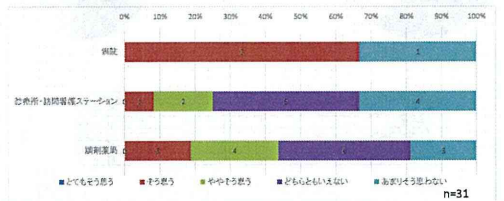
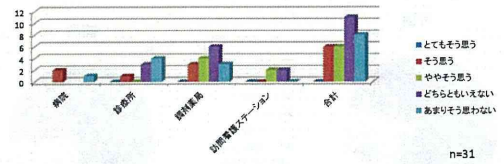


患者と一緒にみているほかの施設の 医師や看護師とやり取りができる

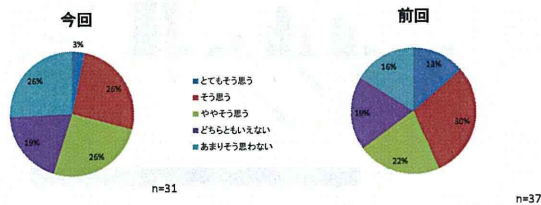


8.患者と一緒にみている他の施設の医師や病院	診療所・訪問看護	合計	%	
1 とてもそう思う	0	0	0.0%	
2 そう思う	2	1	3	19.4%
3 ややそう思う	2	4	6	19.4%
4 どちらともいえない	5	6	11	35.5%
5 あまりそう思わない	1	4	3	25.8%

患者と一緒にみているほかの施設の 医師や看護師とやり取りができる

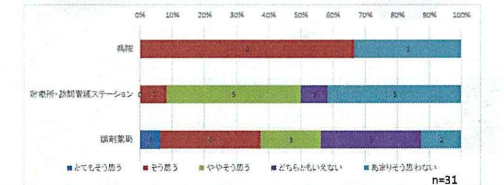
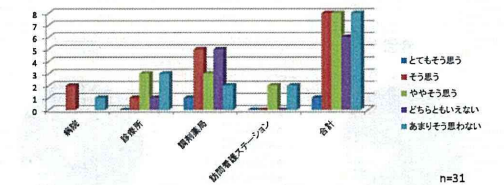


一緒にみている患者のことで連絡を 取るとき躊躇せず連絡ができる

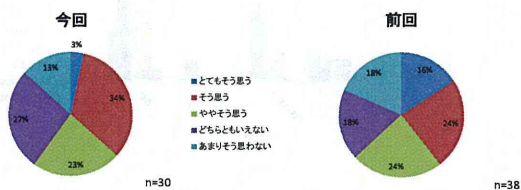


9.一緒にみている患者のことで連絡をとる時病院	診療所・訪問看護	合計	%	
1 とてもそう思う	0	1	3.2%	
2 そう思う	2	1	5	25.8%
3 ややそう思う	5	3	8	25.8%
4 どちらともいえない	1	5	6	18.4%
5 あまりそう思わない	1	5	2	25.8%

一緒にみている患者のことで連絡を 取るとき躊躇せず連絡ができる

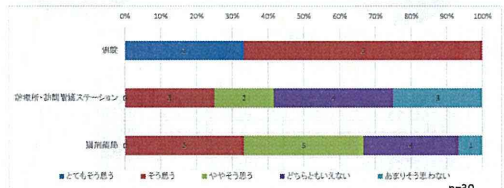
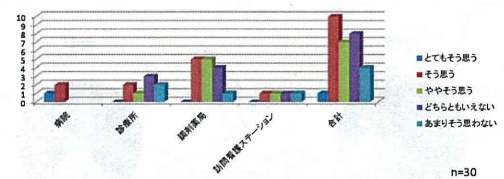


がん患者にかかわることで困ったことは 誰に聞けばいいのかだいたいわかる

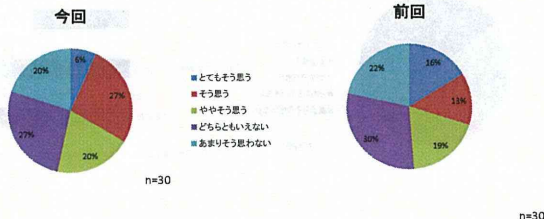


10.がん患者にかかわることで困ったことは、誰に聞けばいいのかだいたいわかる	診療所・訪問看護	合計	%		
1 とてもそう思う	1	0	1	3.3%	
2 そう思う	2	3	5	10	33.3%
3 ややそう思う	2	5	7	23.3%	
4 どちらともいえない	4	4	8	26.7%	
5 あまりそう思わない	3	1	4	13.3%	

がん患者にかかわることで困ったことは 誰に聞けばいいのかだいたいわかる

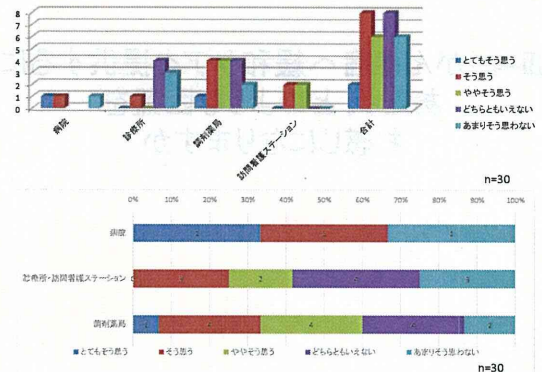


がん緩和ケアの連携に関する課題や困っていることを話し合う機会がある

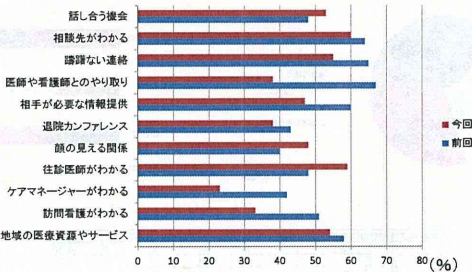


11 がん緩和ケアの地域連携に関する課題	病院	診療所	特別養護老人ホーム	合計	%
1) とてもそう思う	1	0	1	2	6.7%
2) そう思う	1	3	4	8	26.7%
3) ややそう思う	2	4	6	12	40.0%
4) どちらともいえない	4	4	8	16	53.3%
5) あまりそう思わない	1	3	2	6	20.0%

がん緩和ケアの連携に関する課題や困っていることを話し合う機会がある

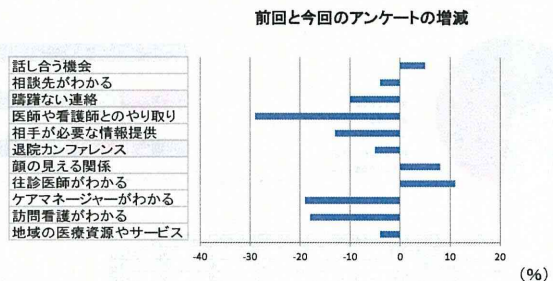


Ⅲ-2 がん患者の緩和ケアに関する連携についてどのようにお考えになりますか



* : とても良くそう思う、そう思う、ややそう思うと回答した率を加算した値の比較

Ⅲ-2 がん患者の緩和ケアに関する連携についてどのようにお考えになりますか



* : とてもそう思う、そう思う、ややそう思うと回答した率を加算し、前回のアンケート結果から今回のアンケート結果をひいた値

Ⅲ-2 がん患者の緩和ケアに関する連携についてどのようにお考えになりますか

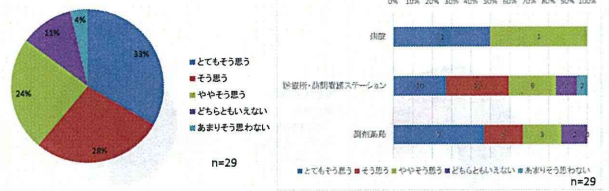
- 地域でがん患者に関わっている人たちとの『顔の見える関係』があるとと思う
- 地域でがん患者を往診してくれる医師がわかる
- がん緩和ケアの連携に関する課題や困っていることを話し合う機会がある
- 以上の3項目だけが、前回より増加。
- 往診してくれる医師が誰かを知っており、関わる医療者との顔の見える関係があり、困ったことがあれば話し合う場があることが望まれている。

Ⅲ-3 がん患者の緩和ケアに関して地域連携で困っている点、改善が必要と考える点(自由記載)

- 訪問診療をしてくれる医療機関が少ない。
- 患者を受け入れてくれる施設が少ない。
- 医療従事者が少ない。
- 入院を繰り返すうちに、退院前カンファレンスをしなくなる。
- 退院後、訪問看護を利用するかどうかわからない場合でも病棟看護師が必要と判断するのならカンファレンスに呼んで欲しい。
- 病院や施設と連携を取ったことが無いが、これから積極的に機会をとらえたい。
- 介護事業所との連携が取れない。
- 緩和ケアを繋ぐ窓口を明確にし、地域に知らせてほしい。

Ⅲ-4 がん患者へ緩和ケアを提供するにあたり、どのような困難をお感じになりますか

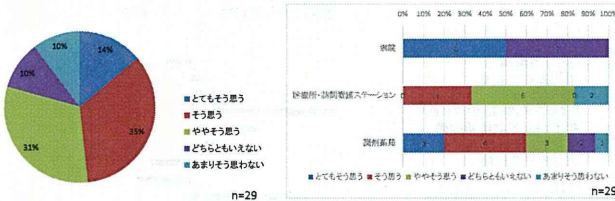
終末期がん患者の診療・対応が難しい



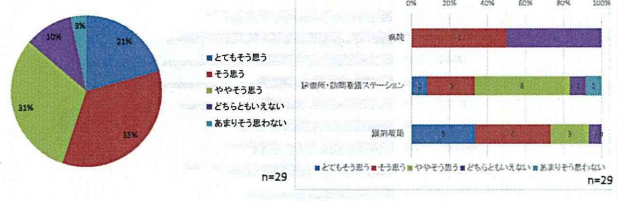
回答	診療所・訪問看護ステーション	調剤薬局	合計	%	
1) とてもそう思う	1	10	7	18	33.3%
2) そう思う		12	3	15	27.8%
3) ややそう思う	1	9	3	13	24.1%
4) どちらともいえない		4	2	6	11.1%
5) あまりそう思わない		2	0	2	3.7%

オピオイドの使用中の患者の診療・対応が難しい

痛みや身体的苦痛の対応が難しい



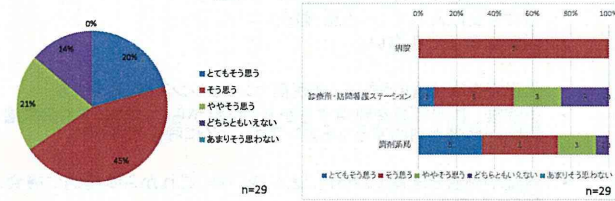
回答	診療所・訪問看護ステーション	調剤薬局	合計	%	
1) とてもそう思う	1	0	3	4	13.8%
2) そう思う		4	6	10	34.5%
3) ややそう思う	6	3	9	31.0%	
4) どちらともいえない	1	0	2	3	10.3%
5) あまりそう思わない		2	1	3	10.3%



回答	診療所・訪問看護ステーション	調剤薬局	合計	%	
1) とてもそう思う	1	1	5	6	20.7%
2) そう思う		3	6	10	34.5%
3) ややそう思う	1	6	3	9	31.0%
4) どちらともいえない	1	1	1	3	10.3%
5) あまりそう思わない		1	0	1	3.4%

不安や抑うつ、精神的な辛さへの対応が難しい

Ⅲ-4 緩和ケア提供の困難感



回答	診療所・訪問看護ステーション	調剤薬局	合計	%	
1) とてもそう思う	1	5	6	20.7%	
2) そう思う	2	5	6	13	44.8%
3) ややそう思う	3	3	6	20.7%	
4) どちらともいえない	3	1	4	13.8%	
5) あまりそう思わない	0	0	0	0.0%	

ほとんどの項目で85%以上の施設が提供が困難と感じており、前回調査からの改善を認めない。

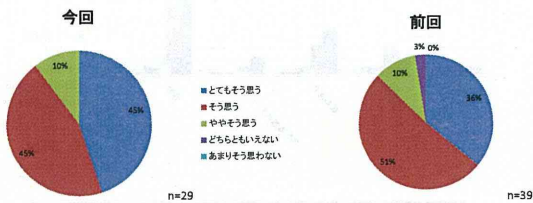
- 終末期がん患者の診療・対応が難しい
- オピオイドの使用中の患者の診療・対応が難しい
- 痛みや身体的苦痛の対応が難しい
- 不安や抑うつ、精神的なつらさへの対応が難しい
- 自宅での療養の支援が難しい

Ⅲ-5 緩和ケアについて困っていること (自由記載)

- ・ 医療・福祉に従事しているスタッフのスキル
- ・ せん妄への対応
- ・ 生活支援、服薬管理、家族支援、特に子供への支援
- ・ 食欲が無いと相談された時の対応(医師へ相談して頂いた)
- ・ 自分の専門外の相談を受けた時の相談窓口が分からない
- ・ 震災後、日常業務をこなすのがやっとだった。少しずつ踏み出していきたい。

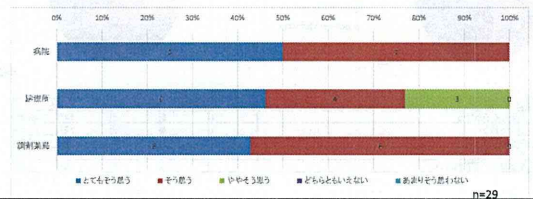
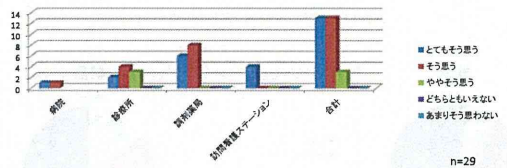
Ⅳ がん患者の緩和ケアに関する 地域連携の促進のために地域で 今後取り組んでいくべき課題

在宅に移行する患者の退院前カンファレンスの充実



在宅に移行する患者の退院前カンファレンスの実施、充実	病院	診療所	緩和薬局	合計	%
1 とてもそう思う	1	6	6	13	44.8%
2 そう思う	1	4	8	13	44.8%
3 ややそう思う		3	0	3	10.3%
4 どちらともいえない		0	0	0	0.0%
5 あまりそう思わない		0	0	0	0.0%

在宅に移行する患者の退院前カンファレンスの充実

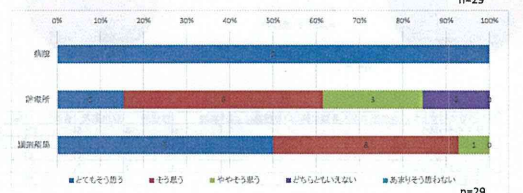
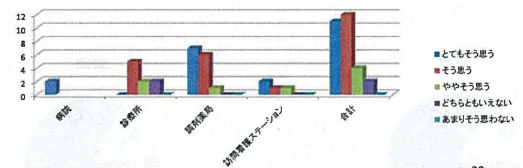


顔が見える関係を作るためのワーク ショップなどの機会



顔が見える関係を作るためのワークショップなどの機会	病院	診療所	緩和薬局	合計	%
1 とてもそう思う	2	2	7	11	37.9%
2 そう思う		6	6	12	41.4%
3 ややそう思う		3	1	4	13.8%
4 どちらともいえない		2	0	2	6.9%
5 あまりそう思わない		0	0	0	0.0%

顔が見える関係を作るためのワーク ショップなどの機会

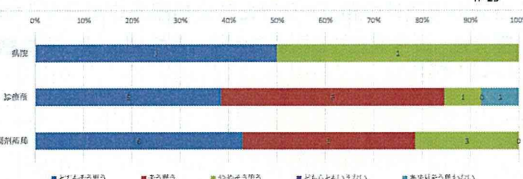
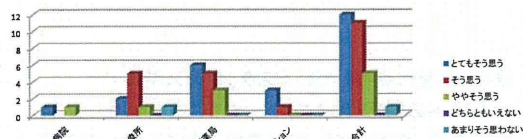


地域でのがん診療を行う医師のマップのようながん診療の資源が明確になるもの



地域でのがん診療を行う医師のマップのようながん診療の資源病院	診療所	薬剤薬局	合計	%
1 とてもそう思う	1	5	6	41.4%
2 そう思う		6	5	37.9%
3 ややそう思う	1	1	3	17.2%
4 どちらともいえない		0	0	0.0%
5 あまりそう思わない		1	0	3.4%

地域でのがん診療を行う医師のマップのようながん診療の資源が明確になるもの

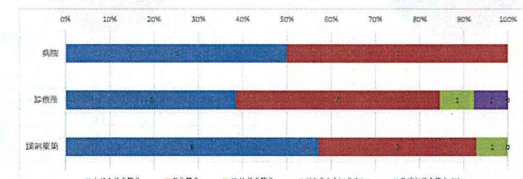
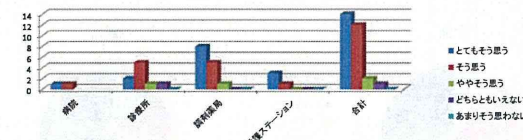


地域での緩和ケアに関わる医師や診療所、訪問看護ステーションのようながん緩和ケアの資源が明確なもの

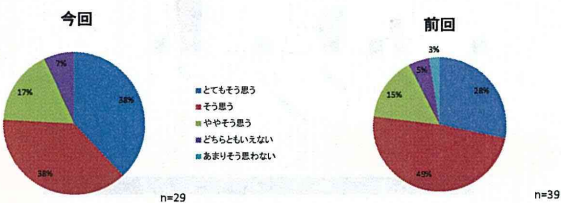


地域での緩和ケアに関わる医師や診療所、訪問看護ステーション病院	診療所	薬剤薬局	合計	%
1 とてもそう思う	1	5	8	48.3%
2 そう思う	1	6	5	41.4%
3 ややそう思う		1	1	6.9%
4 どちらともいえない		1	0	3.4%
5 あまりそう思わない		0	0	0.0%

地域での緩和ケアに関わる医師や診療所、訪問看護ステーションのようながん緩和ケアの資源が明確なもの

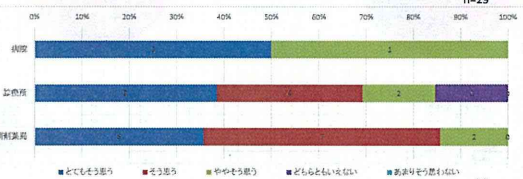
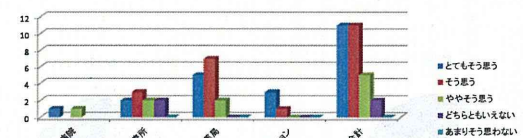


がん患者に関するがん治療医やがん看護に詳しい看護師による電話やメールでの相談体制

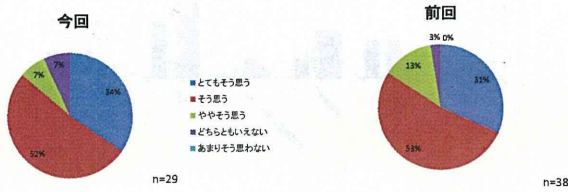


がん患者に関するがん治療医やがん看護に詳しい看護師による相談体制	診療所	薬剤薬局	合計	%
1 とてもそう思う	1	5	5	37.9%
2 そう思う		4	7	37.9%
3 ややそう思う	1	2	2	17.2%
4 どちらともいえない		2	0	6.9%
5 あまりそう思わない		0	0	0.0%

がん患者に関するがん治療医やがん看護に詳しい看護師による電話やメールでの相談体制

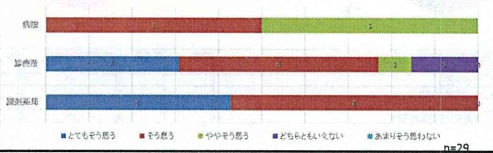
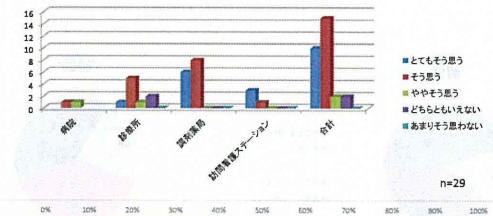


緩和ケアに関する病院の緩和ケア医や緩和ケア専門看護師による電話やメールで相談できる体制

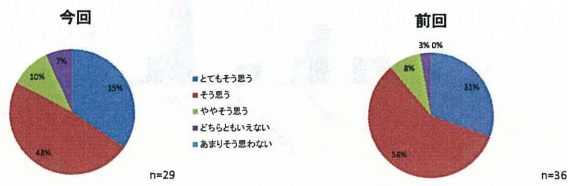


緩和ケアに関する病院の緩和ケア医や緩和ケア専門看護師による	診療所	特別薬局	合計	%
1) とてもそう思う	4	6	10	34.5%
2) そう思う	1	6	8	51.7%
3) ややそう思う	1	1	0	6.9%
4) どちらともいえない	2	0	2	6.9%
5) あまりそう思わない	0	0	0	0.0%

緩和ケアに関する病院の緩和ケア医や緩和ケア専門看護師による電話やメールで相談できる体制

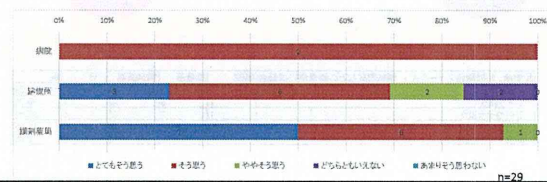
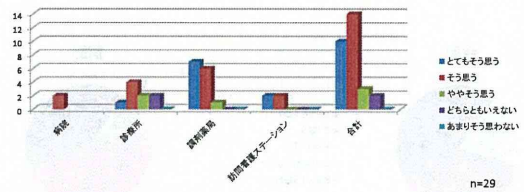


病院の相談支援室に在宅療養など患者が抱える問題を電話やメールで相談できる体制

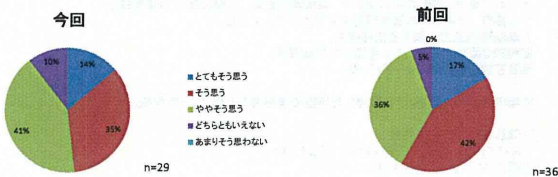


病院の相談支援室に在宅療養など患者が抱える問題を電話やメールで	診療所	特別薬局	合計	%
1) とてもそう思う	3	7	10	34.5%
2) そう思う	2	6	6	48.3%
3) ややそう思う	2	1	3	10.3%
4) どちらともいえない	2	0	2	6.9%
5) あまりそう思わない	0	0	0	0.0%

病院の相談支援室に在宅療養など患者が抱える問題を電話やメールで相談できる体制

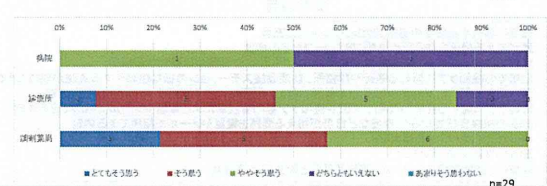
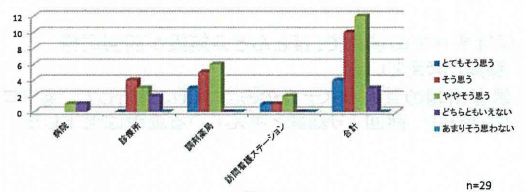


メーリングリストでの情報共有

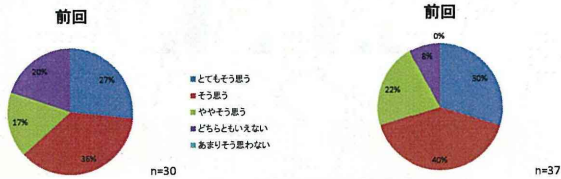


メーリングリストでの情報共有	診療所	特別薬局	合計	%
1) とてもそう思う	1	3	4	13.8%
2) そう思う	5	5	10	34.5%
3) ややそう思う	1	5	6	41.4%
4) どちらともいえない	1	2	0	10.3%
5) あまりそう思わない	0	0	0	0.0%

メーリングリストでの情報共有

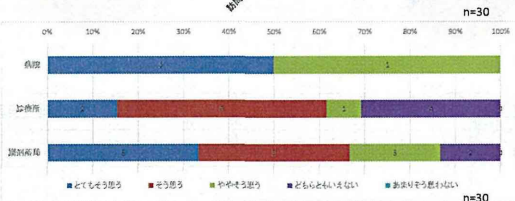
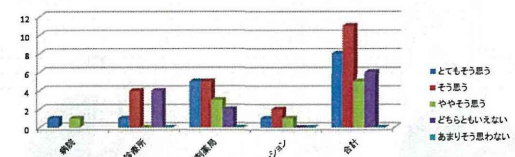


患者情報の共有システム

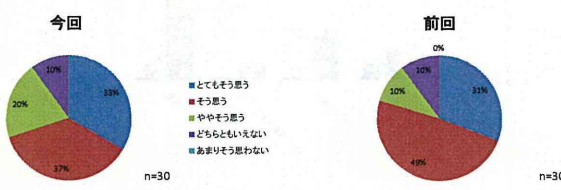


患者情報の共有システム	病院	診療所	調剤薬局	合計	%
1) とても思う	1	2	0	3	26.7%
2) そう思う	1	6	5	12	36.7%
3) やや思う	1	1	3	5	16.7%
4) どちらともいえない	0	4	2	6	20.0%
5) あまり思うわない	0	0	0	0	0.0%

患者情報の共有システム

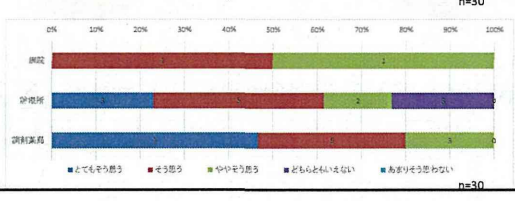
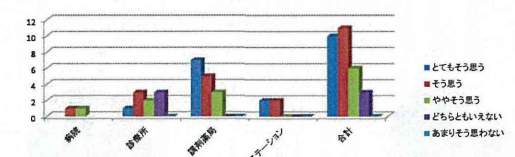


診療所、訪問看護ステーション、調剤薬局などの職員向け講習会



診療所、訪問看護ステーション、調剤薬局などの職員向け講習会	病院	診療所	調剤薬局	合計	%
1) とても思う	0	3	7	10	33.3%
2) そう思う	1	5	5	11	36.7%
3) やや思う	1	2	3	6	20.0%
4) どちらともいえない	0	3	0	3	10.0%
5) あまり思うわない	0	0	0	0	0.0%

診療所、訪問看護ステーション、調剤薬局などの職員向け講習会



IV がん患者の緩和ケアに関する地域連携の促進のために地域で今後取り組んでいくべき課題

- ほぼすべての項目で、ほとんどの施設が前回同様課題と考えている。
- 患者情報の共有システムのみは、既に進行しているプロジェクトがあり、前回より課題と考えている施設は低下した。

質問項目

1. 在宅に移行する患者の退院前カンファレンスの充実
2. 顔が見える関係を作るための和O区ショップなどの機会
3. 地域でのがん診療を行う意思のマップの様な緩和ケアの資源が明確になるもの
4. 地域での緩和ケアに関わる医師や診療所、訪問看護ステーションの様な緩和ケアの資源が明確なもの
5. がん患者に関するがん治療医やがん看護に詳しい看護師による電話やメールでの相談体制
6. 緩和ケアに関する病院の緩和ケア医や緩和ケア専門看護師による電話やメールで相談できる体制
7. 病院の相談支援室に在宅療養など患者が抱える問題を電話やメールで相談できる体制
8. メール・リストでの情報共有
9. 患者の情報共有システム
10. 診療所、訪問看護ステーション調剤薬局など職員向け講習会

V がん診療や緩和ケアの連携について望むこと

- 複数科にかかっている患者さんの場合、情報提供してくれる科とくれない科がある。
- 退院時に患者・家族の病状認識と、病状説明を受けた時の様子の情報提供。
- がん診療、緩和ケアの最新情報を定期的に流してほしい。
- 入退院時の処方に関する情報提供。
- 定期的な薬物治療をしている場合の情報提供。
- 患者家族の状況のフィードバック。
- 地域内のがん・緩和ケアに関連した施設の連絡先などのリストの作成。
- 訪問診療についての啓蒙。
- レスバイトのための入所を受け入れて欲しい。
- 退院時カンファレンスに参加したい。
- 外部からの窓口の明確化。
- 業種間の相互理解を深める。
- 情報共有と連携の強化。
- 退院困難になる前に、訪問診療を検討してほしい。